



「文明開化」って、何のことなの



明治時代初期に、西洋の近代的な文明を取り入れたことだよ。

近代化が始まった

明治時代初期の明治政府は、西洋の近代的な文明を取り入れて、近代化を進めました。それによって、次のようなことが始まりました。

- 1869年：京都で最初の小学校開設。東京～横浜間で電信が開通。
- 1870年：自転車^{じゆうせん}があらわれる。横浜毎日新聞（最初の定期印刷新聞）発刊。
- 1871年：郵便制度^{ゆうびんせいどかいし}開始。
- 1872年：新橋～横浜間に鉄道開通。横浜でガス灯^{かえいとみおかせいしじょう}がつく。官営富岡製糸場（最初の西洋式器械製糸場）開業。学制（大・中・小学校）発布。太陽暦^{たいようれき}を採用。
- 1873年：第一国立銀行（最初の銀行）開業。
- 1883年：東京電灯会社が開業。
- 1890年：東京・横浜で電話交換^{でんわこうかん}を開始。

また、民衆^{みんしゆう}にも、洋服を着る、洋食を食べる、かみを短くするなど、くらしの大きな変化が起こりました。

制度や物の取り入れを積極的に行った

明治政府の「文明開化^{せいみんかい化}」政策は、政府のしくみや、法律・工場・交通・通信・学校などの制度・物を取り入れて、西洋に負けない強い国にすることが目的でした。そのため、「自由^{じゆう}」「権利^{けんり}」という近代的な思想の取り入れには、熱心でなかったのです。しかし、これらの思想も、「文明開化」にともなって入ってきて、民衆が目覚め、自由民権運動^{じゆうみんけんうんどう}が起こりました。すると政府は、民衆が自分で物事を判断することをいやがり、古くからの忠義・孝行といった道徳を復活させて、民衆におしつけました。